

富山県鋳工業生産の動き

～令和6年(2024年)6月分・第Ⅱ四半期分～

総合指数

令和2年(2020年)=100、季節調整済

	令和6年6月	前月比	前年同月比
生産指数	104.2	▲0.9%	▲1.1%
在庫指数	102.1	2.2%	▲3.6%

1 生産指数 (季節調整済指数) は 104.2 と前月に比べ▲0.9%となり、5ヵ月ぶりに低下した(図表)。

これは13業種中、電気機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業などの7業種において低下したことによる。なお、上昇した業種はパルプ・紙・紙加工品工業、化学工業、輸送機械工業などの5業種である。また、鉄鋼業が前月と比べ横ばいとなった。

業種別にみると、電気機械工業は同▲10.7%で89.4となり、金属製品工業は同▲7.8%で97.0となった。他方、パルプ・紙・紙加工品工業は同124.0%の上昇で140.7となった。

また、前年同月比(原指数)は▲1.1%となり、3ヵ月ぶりに前年を下回った。

なお、13業種中、令和2年基準の指数100を上回っている業種は、輸送機械工業(143.8)、パルプ・紙・紙加工品工業(140.7)、化学工業(113.1)などの9業種となっている。

2 在庫指数 (季節調整済指数) は 102.1 と前月に比べ2.2%の上昇となり、3ヵ月ぶりに上昇した(図表)。

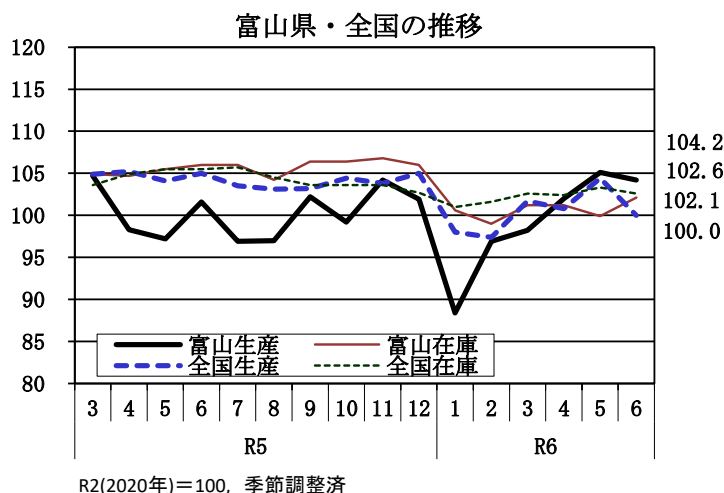
これは13業種中、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業などの6業種が上昇したことによる。なお、低下した業種は汎用・生産用・業務用機械工業、非鉄金属工業、金属製品工業などの7業種である。

前年同月比(原指数)は▲3.6%となり、6ヵ月連続で前年を下回った。

指数の動き

令和2年(2020年)=100、季節調整済指数

	富山県		全国		
	生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数	
令和5年	3月	104.7	104.9	103.6	
	4月	98.3	104.7	104.9	
	5月	97.2	105.5	105.5	
	6月	101.6	106.0	105.5	
	7月	96.9	106.0	105.7	
	8月	97.0	104.2	104.5	
	9月	102.2	106.4	103.6	
	10月	99.2	106.4	103.6	
	11月	104.2	106.8	103.6	
	12月	101.9	106.0	102.7	
	令和6年	1月	88.4	100.6	101.0
		2月	96.9	99.0	101.6
3月		98.2	101.2	102.6	
4月		102.0	101.2	102.4	
5月		105.1	99.9	103.3	
6月		104.2	102.1	100.0	



※全国:経済産業省「鋳工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(確報)」

- 次回公表予定日: 令和6年9月25日(水)
- 「富山県鋳工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」で公表しています。
<https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

令和6年6月分 業種別の主な動向

※ ウェイトは10000分比で算出

※ 業種は寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載

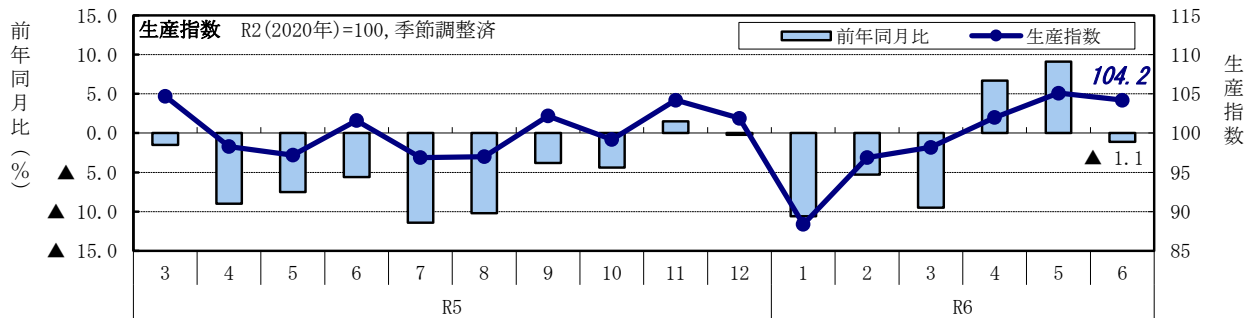
<生産>〔指数 104.2 (前月比▲0.9%)〕

↓低下した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
電気機械工業	1199.3	89.4	▲ 10.7 %		▲ 3.0 %
金属製品工業	1163.3	97.0	▲ 7.8 %		▲ 11.4 %
プラスチック製品工業	730.7	89.9	▲ 9.5 %	プラスチック製フィルム・シートなど	▲ 6.1 %

↑上昇した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
パルプ・紙・紙加工品工業	337.9	140.7	124.0 %		23.7 %
化学工業	2097.3	113.1	1.9 %	その他化学製品など	7.2 %
輸送機械工業	264.8	143.8	11.9 %		33.0 %



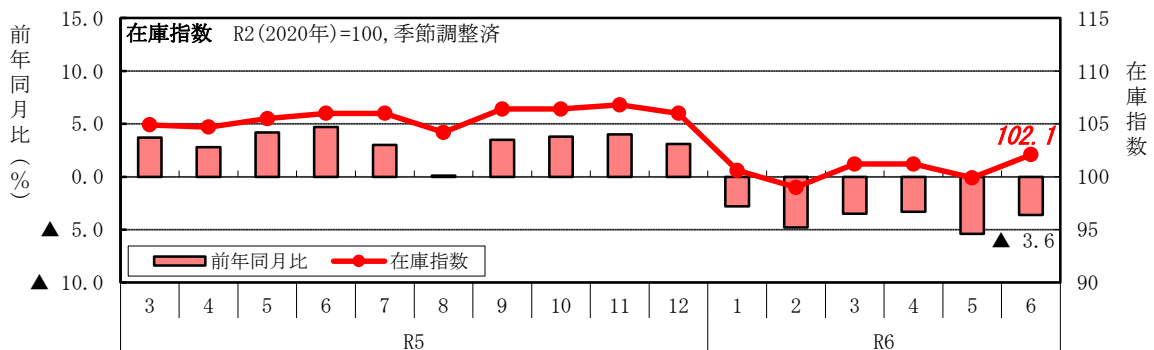
<在庫>〔指数 102.1 (前月比2.2%)〕

↑上昇した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
化学工業	3557.6	111.6	4.7 %	医薬品など	6.7 %
パルプ・紙・紙加工品工業	498.6	84.0	25.9 %		▲ 4.6 %
電気機械工業	649.4	X	X		X

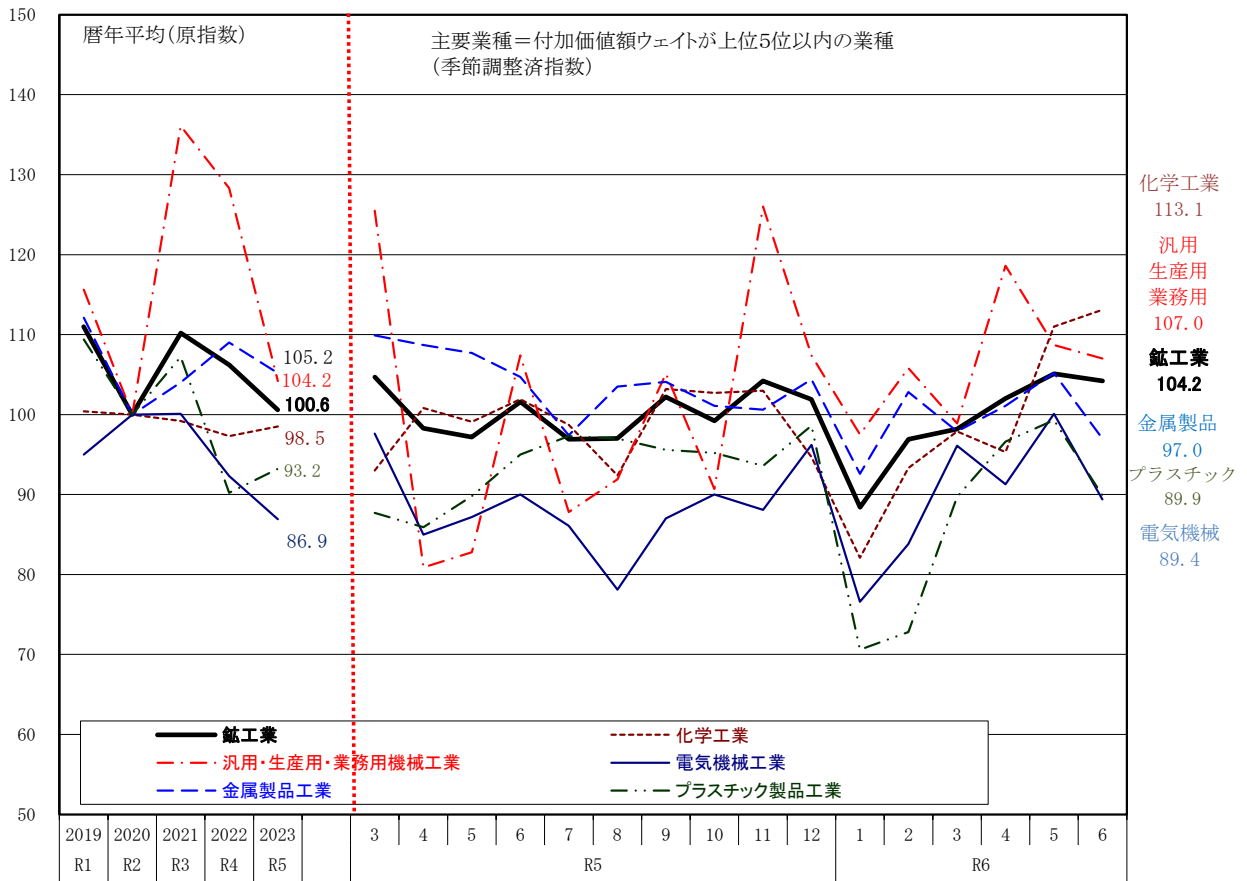
↓低下した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
汎用・生産用・業務用機械工業	1836.3	101.3	▲ 2.2 %		▲ 2.2 %
非鉄金属工業	370.0	120.3	▲ 6.5 %	アルミニウム二次精錬など	▲ 6.4 %
金属製品工業	477.6	103.2	▲ 3.6 %		▲ 9.8 %



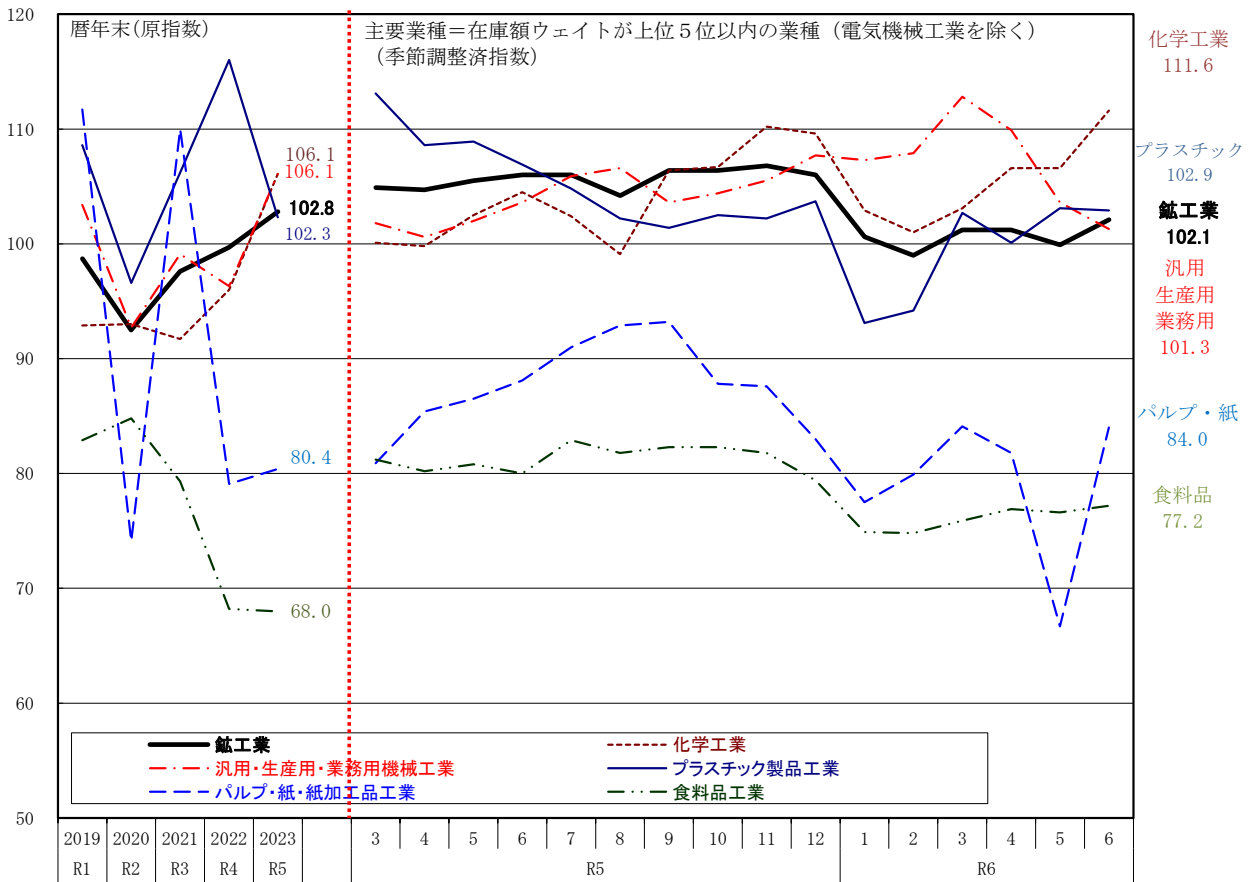
主要業種別生産指数の推移(富山県)

R2(2020年)=100



主要業種別在庫指数の推移(富山県)

R2(2020年)=100



令和6年(2024年)第Ⅱ四半期分

総合指数

令和2年(2020年)=100、季節調整済

	令和6年Ⅱ期	前期(末)比	前年同期(末)比
生産指数	103.8	9.8%	4.7%
在庫指数	102.1	0.9%	▲3.6%

※在庫の四半期の数値は期末値である。

1 生産指数 (季節調整済指数) は103.8と前期に比べ9.8%の上昇となり、2期ぶりに上昇した(図表)。

これは13業種中、**化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業**などの12業種が上昇したことによる。なお、**低下した業種はパルプ・紙・紙加工品工業の1業種のみ**である。

業種別にみると、**化学工業は医薬品**などの増加により同**16.9%の上昇**で106.5となり、**汎用・生産用業務用機械工業はロボット・産業機械**などの増加により同**10.6%の上昇**で111.4となった。他方、**パルプ・紙・紙加工品工業は同▲5.0%**で98.0となった。

また、**前年同期比(原指数)は4.7%の上昇**となり、**10期ぶりに前年を上回った**。

2 在庫指数 (季節調整済指数) は102.1と前期末に比べ0.9%の上昇となり、3期ぶりに上昇した(図表)。

これは13業種中、**化学工業、鉄鋼業、非鉄金属工業**など9業種が上昇し、**汎用・生産用・業務用機械工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業**など4業種が低下したことによる。

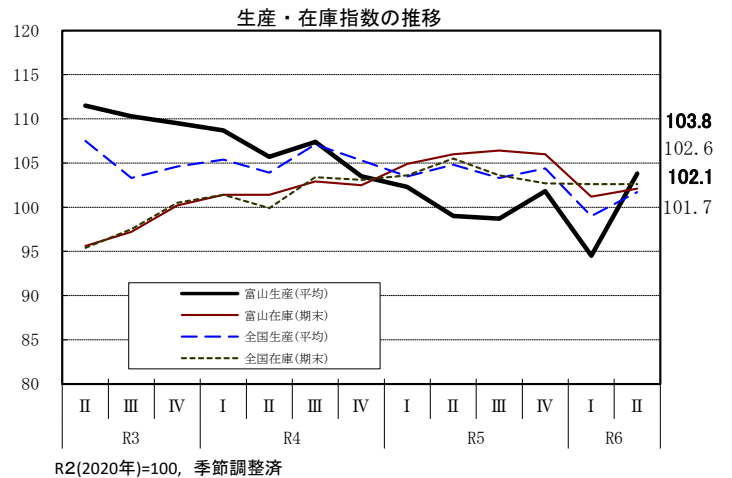
また、**前年同期末比(原指数)は▲3.6%**となり、**2期連続で前年を下回った**。

※上記の生産と在庫の推移は、「在庫循環図(P8)」を参照

指数の動き

令和2年(2020年)=100、季節調整済指数

	富山県		全国		
	生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数	
令和3年	Ⅱ期	111.5	95.6	107.5	95.4
	Ⅲ期	110.3	97.2	103.3	97.5
	Ⅳ期	109.5	100.2	104.6	100.5
令和4年	Ⅰ期	108.7	101.4	105.4	101.4
	Ⅱ期	105.7	101.4	103.9	99.9
	Ⅲ期	107.4	102.9	107.1	103.4
令和5年	Ⅳ期	103.5	102.5	105.3	103.1
	Ⅰ期	102.3	104.9	103.5	103.6
	Ⅱ期	99.0	106.0	104.8	105.5
令和6年	Ⅲ期	98.7	106.4	103.3	103.6
	Ⅳ期	101.8	106.0	104.4	102.7
	Ⅱ期	103.8	102.1	101.7	102.6



※全国:経済産業省「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(確報)」

令和6年第Ⅱ四半期分 業種別の主な動向

※ ウェイトは10000分比で算出

※ 業種は寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載

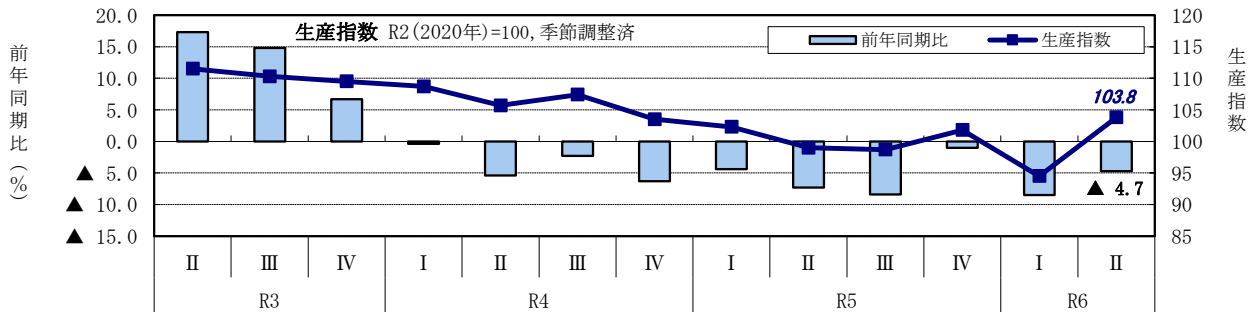
〈生産〉〔指数 103.8 (前期比 9.8%)〕

↑上昇した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前期比	寄与した主な品目	前年同期比
化学工業	2097.3	106.5	16.9%	医薬品など	5.4%
汎用・生産用・業務用機械工業	1731.4	111.4	10.6%	ロボット・産業機械など	22.4%
プラスチック製品工業	730.7	95.3	22.7%	プラスチック製フィルム・シートなど	5.5%

↓低下した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前期比	寄与した主な品目	前年同期比
パルプ・紙・紙加工品工業	337.9	98.0	▲ 5.0%		▲ 12.8%



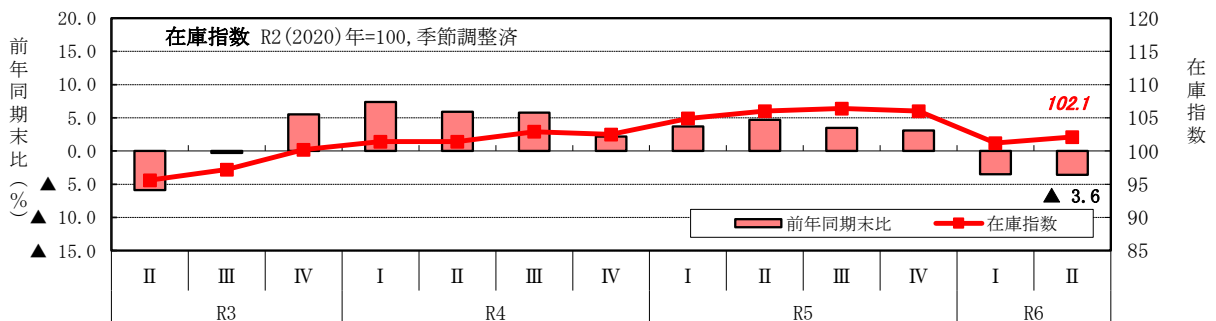
〈在庫〉〔指数 102.1 (前期比 0.9%)〕

↑上昇した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前期末比	寄与した主な品目	前年同期末比
化学工業	3557.6	111.6	8.2%	医薬品など	6.7%
鉄鋼業	478.9	84.8	8.2%	鋳鍛鋼品類など	▲ 7.5%
非鉄金属工業	370.0	120.3	5.0%		▲ 6.4%

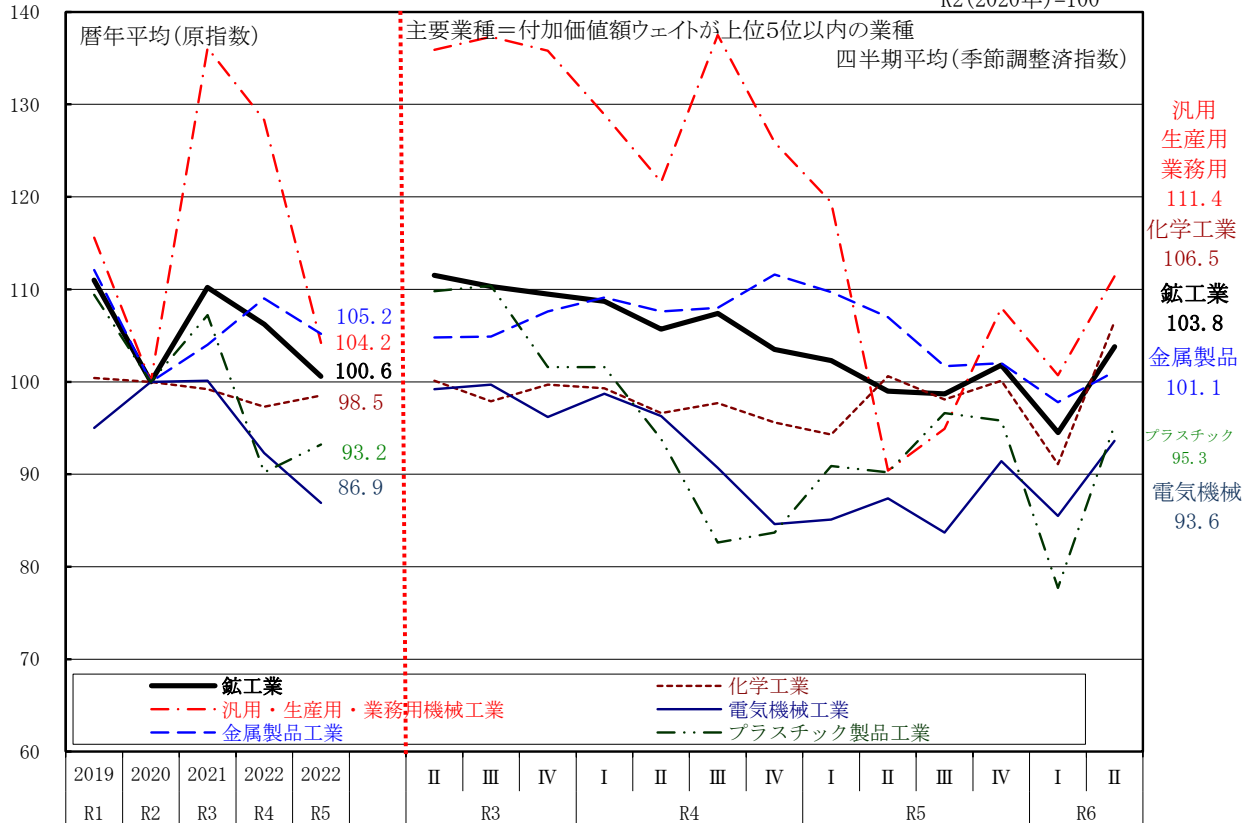
↓低下した主な業種

主な業種	ウェイト	指数	前期末比	寄与した主な品目	前年同期末比
汎用・生産用・業務用機械工業	1836.3	101.3	▲ 10.2%		▲ 2.2%
窯業・土石製品工業	221.4	83.8	▲ 17.0%		▲ 23.8%
輸送機械工業	185.8	117.5	▲ 10.5%	自動車部品など	▲ 4.3%



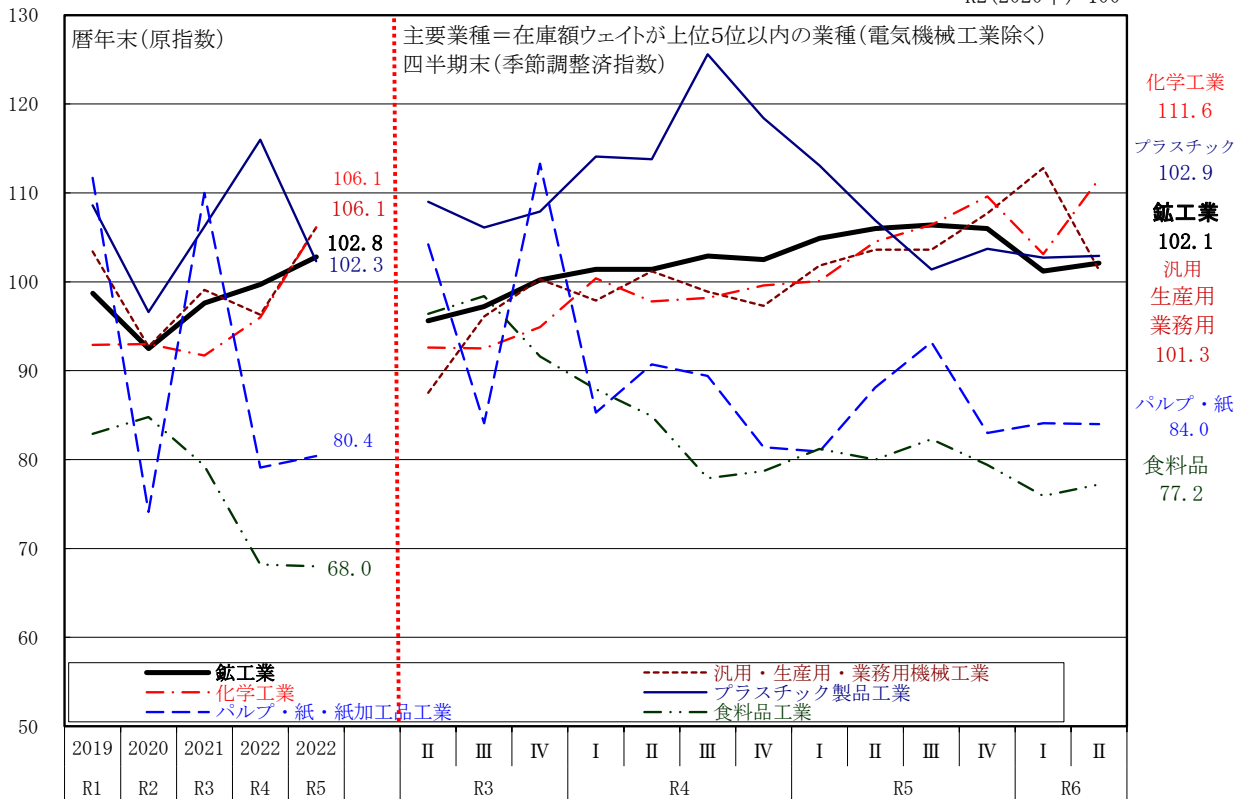
主要業種別生産指数の推移（富山県）

R2(2020年)=100



主要業種別在庫指数の推移（富山県）

R2(2020年)=100



<在庫循環の最近の傾向> (8ページ参照)

富山県の在庫循環図をみると、令和3年Ⅰ期は「在庫減少局面」に位置し、令和3年Ⅱ期からⅣ期は「在庫積み増し局面」へ、令和4年Ⅰ期からⅢ期は、「在庫積み上がり局面」へ、令和4年Ⅳ期から令和5年Ⅲ期は「在庫調整局面」へ移動した。令和5年Ⅳ期は「在庫積み上がり局面」へ移動した。令和6年Ⅰ期は「在庫調整局面」へ移動した。

今回の令和6年Ⅱ期では、生産が前年同期比4.7%の上昇、在庫が前年同期末比▲3.6%となり、「在庫積み増し局面」に位置している。

また、全国の在庫循環図をみると、令和3年Ⅰ期は「在庫減少局面」に位置し、令和3年Ⅱ期、Ⅲ期は「在庫積み増し局面」へ移動し、令和3年Ⅳ期から令和5年Ⅱ期は、「在庫積み上がり局面」へ、令和5年Ⅲ期から令和6年Ⅰ期は「在庫調整局面」へ移動した。

今回の令和6年Ⅱ期では、生産が前年同期比▲2.9%、在庫が前年同期末比▲2.7%となり、「在庫調整局面」と「在庫減少局面」の境目付近に位置している。

〔在庫循環図について〕

企業は、販売用製品、生産に必要な原材料を在庫として保有しており、その量を出荷・販売などの動きに応じて変化させる。この在庫は、経済活動全体としてみると生産と需要のギャップから発生し、景気変動に合わせて循環的に増減する傾向があり、この循環を在庫循環 (Inventory Cycle) と呼んでいる。

この在庫循環は、在庫循環図 (生産・在庫指数の原指数の前年同期比による在庫循環の4局面) として示すことができ、「在庫積み増し局面」→「在庫積み上がり局面」→「在庫調整局面」→「在庫減少局面」と景気の局面ごとに起こり、通常、時計の反対方向にグラフが推移する傾向がある (傾向変動を除去した場合)。

なお、過去の分析から、ほぼ40ヵ月 (3~4年) の循環を示すことが多く、「キチンの波」(キチン(Kitchin)が分析したもの) とも呼ばれる。

在庫循環の4局面とは、以下のとおり。

「在庫積み増し局面」

景気が上向き需要が回復しているときには、将来の需要増を見込み、原料を手当し、製品化を急ぎ、在庫を積み増す (図 b1,b2)。

「在庫積み上がり局面」

景気の山を迎え、需要が伸び悩み、下降局面にはいると、企業の需要予測より実際の需要が下回ることになり、在庫がたまりはじめる (意図せざる在庫投資、図 c1,c2)。

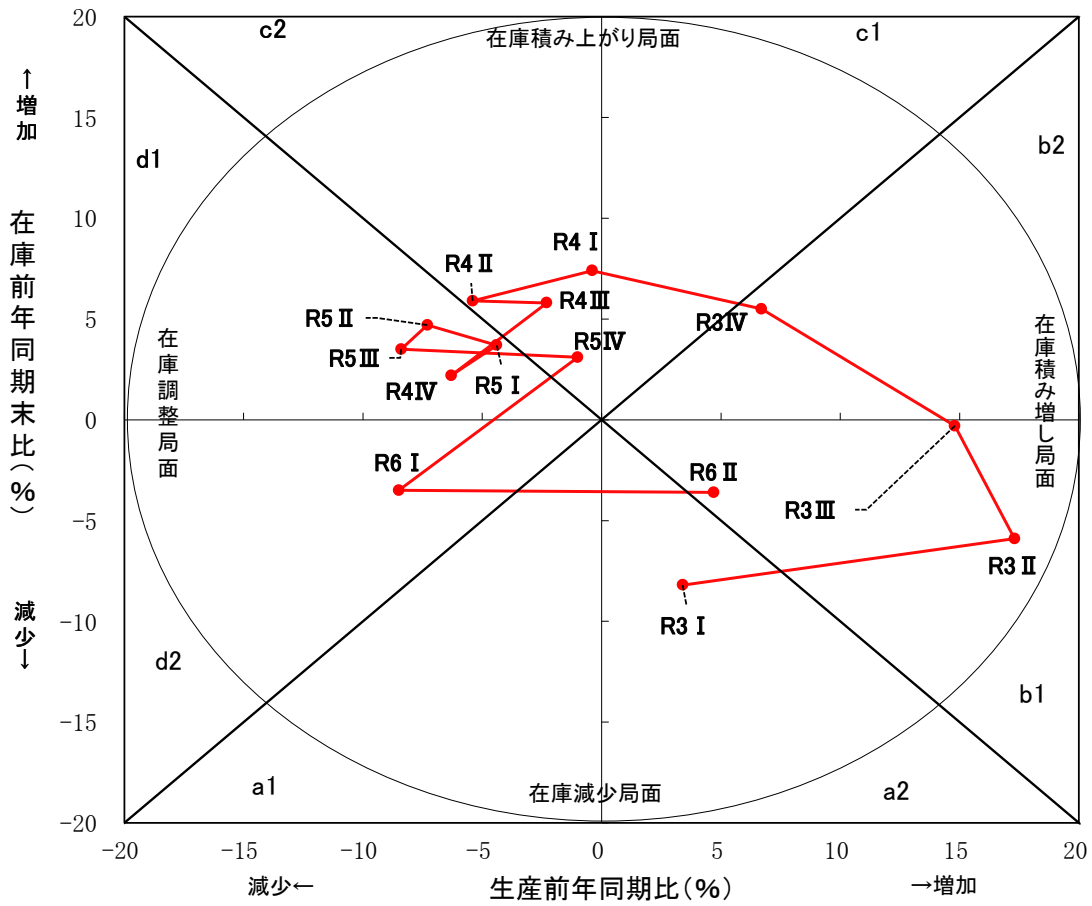
「在庫調整局面」

需要低迷により積み上がった在庫を意図的に減らすため、減産を行う。この結果、景気の停滞・後退は進む。これが在庫調整であり、この在庫調整が終了する時期が、ほぼ景気の谷となる (図 d1,d2)。

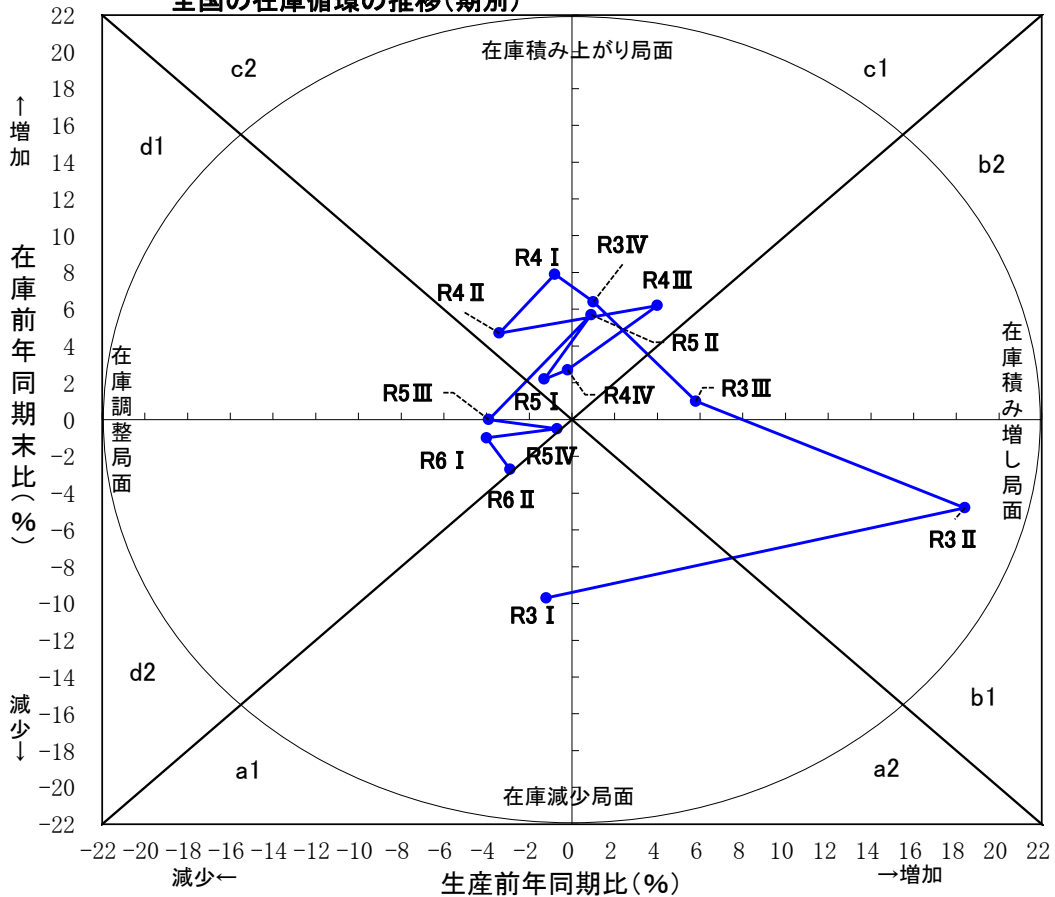
「在庫減少局面」

景気が回復し需要が増えると、最初は生産が追いつかず需要が予測を上回り、生産を増やしても在庫が意図しないで減少する (意図せざる在庫減局面、図 a1,a2)。

富山県の在庫循環の推移(期別)



全国の在庫循環の推移(期別)



※全国:経済産業省「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(確報)」

鋳工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鋳工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鋳工業の動向を総合的に把握することを目的とする。鋳工業指数とは、一定地域内における月々の鋳工業生産量及び在庫量を、ある一定時期を基準にして指数化したものである。

2 基準年

基準年を令和2年(2020年)とし、指数値は令和2年の平均を100.0とした比率で示される。令和2年基準(令和6年3月25日公表)は、令和6年1月分指数値から適用するとともに、平成30年(2018年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

日本標準産業分類に基づく13業種による業種分類(若干の組み換えを行っている)と、品目の用途により財別に格付けした特殊分類(財別)で指数を作成している。

4 採用品目とウェイト算定基準

生産指数は172品目、生産者製品在庫指数(以下、「在庫指数」という)は115品目である。ウェイトの算出にあたっては、生産指数は基準年次(令和2年)の付加価値額、在庫指数は基準年次の在庫額を基準とした。

5 季節調整

季節調整の方法は、センサス局法(X-ARIMA-12)を採用している。季節調整済指数とは、原指数から季節変動を除去した指数である。

6 統計表の見方

① 符号

- 「-」 : 該当値なし 「▲」 : マイナスの場合
「X」 : 秘匿(調査事業所が少なく、個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため公表できない数値)
「0.0」 : 数値が単位未満の場合

② 四半期の区分は以下のとおり。

I期: 1-3月、II期: 4-6月、III期: 7-9月、IV期: 10-12月

7 その他

この結果を引用する際は、「富山県鋳工業生産の動き」による旨を注記してください。月報の過去の値が修正報告等により修正されている場合があります。公表予定は、予告なく変更する場合があります。詳しい利用上の注意は、別途「とやま統計ワールド」に掲載しています。

<調査についてのお問い合わせ先>

〒 930-0005 富山市新桜町5番3号 第2富山電気ビルディング5階
富山県 経営管理部 統計調査課 商工係 TEL: 076-444-3193(直通)
とやま統計ワールド (<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>)